

# 同援だより

2021年

秋季号 (189号)

● 主な内容 ●

新任評議員挨拶  
高齢者を支えるご家族へのアドバイス  
永年勤続表彰  
施設通信



## 気を引き締めて！もう少しの間

常務理事 中島 昭

この同援だよりが皆様のお手元に届く頃には笑い話になっているかもしれませんが、デルタ株の猛威は、本会の施設にも影響を与えました。令和3年7月及び8月の2月間で、利用者及び職員の新規陽性者が、令和2年度末の約2倍と急増しました。特に、保育園の増加が目立っています。各施設長を始めとした職員の適切な対応で、休園になる事態は避けられていますが、今後も予断を許さない状況が続くと思われまます。

一方、感染予防の切り札とされている、職員や入所施設利用者へのワクチン接種は、8月末時点で高齢系施設はほぼ終了しました。その他の支援系については、施設所在地により、その進捗状況にバラツキはあるものの、全体としては接種希望者の8～9割が終了し、9月中には接種がほぼ終了する見込みです。

今後は、通所施設利用者のご家族に対して感染予防への協力を求めるなど更なる感染予防に努めるとともに、希望する利用者及び職員へ速やかにワクチン接種できるようサポートしてまいります。そして一日も早く安心・安全な日常を取り戻したいと願っています。

ただ、ワクチン接種が感染を完全に予防できるわけではありません。ブレークスルー感染を防止するためにも、今までどおり日常的な防止策を怠らないようにしなければなりません。「こんなことを、いつまで続けなければならないのか?」、「たまには、パーツとやりたい!」、こんな気持ちはよくわかります。でも、同援のプライドにかけて、固いチームワークで耐えていただきたいと切に願っています。

さて、9月1日から、本会にとって10番目の保育園となる「(仮称)同援いぐさ保育園」の建設工事が始まっています。所在地は、西武新宿線上井草駅前と言ってもよい交通至便の場所です。23区と多摩地区のほぼ中間に位置し、今後両地区間の人事交流が促進されることが期待されます。定員は1歳児から5歳児まで各年齢12名の60人で、令和4年4月1日開設を予定しています。厳しいスケジュールですが予定通りの開設に向け、法人一丸となって進めてまいります。

# 新任評議員挨拶



評議員 吉村 晴美

このたび評議員に就任いたしました吉村です。就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は未だ出口が見えない状況です。ワクチン接種が進みつつある一方、新型株の拡大により、福祉現場では引続き緊張が続いていることと思います。皆様のご尽力に感謝申し上げます。

東京都同胞援護会は、戦後の復興期から現在まで、高齢、障害、子ども・女性等幅広い分野において福祉事業を展開してこられており、まさに日本の福祉の歩みを体現されている社会福祉法人です。そのような法人の評議員という大役をお引き受けすることとなり、身の引きしまる思いです。

現在、私は新宿区社会福祉協議会で地域福祉に携わっております。また、それ以前は、新宿区役所に職を得、福祉・子ども家庭分野でも長く仕事をさせていただきました。

その中で、感じてきたことの一つに、福祉の目指す「その人らしく生きる」ためのアプローチや目指す姿は、多様であるということです。必要とする方に寄り添った支援が行われているかという視点を大切に、このたびの職責も果たして参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



評議員 細谷 訓之

この度、東京都同胞援護会の評議員にご選任いただきました細谷訓之と申します。私は、長年昭島市に在住しております者で、市内に多くの施設を有し、日頃から地域に根ざした事業活動を続けられておられる貴会に深く敬意を表するものであります。また、未だ感染拡大の衰えを見せぬ現下のコロナ禍において、日夜感染症対策に奮闘されておられる職員の皆様に心より感謝申し上げます。社会福祉の中で国の提唱する地域共生社会の実現は、地域の中でいか

に孤立した人をつくらないかということにあります。このコロナ禍はまさにそうした共助の環境を根底から覆すものであり、人と人との交流が制約される中で社会福祉法人の在り方が今改めて問われているものと感じています。

こうした状況下に評議員として活動させていただきますこと、大変に光栄に存じますとともに、任の重さに身の引き締まる思いであります。就任にあたりましては、地元に住生活する者として地域の実情を踏まえた視点を心がけ、皆様方のお力添えをいただきながら微力ではありますがお役に立てますよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

皆様、初めまして、この度、貴法人の評議員に就任いたしました七島晴仁と申します。現在、社会福祉法人板橋区社会福祉協議会で常務理事・事務局長を務めております。どうぞよろしくお願いいたします。



評議員 七島 晴仁

さて、貴法人におかれましては、多様な施設を運営され、地域住民の皆様のために福祉及び医療の分野で、多大なる貢献をされております。また、職員の皆様方には、日頃より、大変なご苦勞をされているものと存じますが、2年近くに及ぶコロナ禍の中、様々な対策にも取り組まれ、二重三重のご苦勞をされているものと拝察いたします。日々、健闘されている皆様方には、心から敬意を表するものでございます。

ワクチン接種は日々進んできてはおりますが、まだまだ安心できる状況にはなく、感染対策の重要性は、何ら変わっていません。

このような困難な状況の中、貴会の評議員を務めさせていただくことになり、責任の重さを感じるとともに、気の引き締まる思いでございます。大変微力ではございますが、貴会の増々の発展を通じて、地域福祉の向上に少しでもお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

このたび当会役員を退任されるに当たり、これまでのご功勞に同胞援護会をあげて感謝申し上げますとともに、今後のさらなるご健勝をご祈念申し上げます。本当にありがとうございました。

このたび当会役員を退任されるに当たり、これまでのご功勞に同胞援護会をあげて感謝申し上げますとともに、今後のさらなるご健勝をご祈念申し上げます。本当にありがとうございました。

このたび当会役員を退任されるに当たり、これまでのご功勞に同胞援護会をあげて感謝申し上げますとともに、今後のさらなるご健勝をご祈念申し上げます。本当にありがとうございました。

## ご退任役員

監事	岩井 令雄	(平成26年5月30日～令和3年6月25日)
	古屋 正義	(平成18年5月30日～令和3年6月25日)
評議員	小山 寿	(平成16年5月30日～令和3年6月25日)
	田中 幸子	(平成22年5月30日～令和3年6月25日)



# 高齢者を支えるご家族への アドバイス

新宿区榎町高齢者総合相談センター  
管理者 渡邊 達雄

超高齢社会となった日本における認知症高齢者数は、現在 65 歳以上の 7 人に 1 人と推計されており、だれもが認知症になる可能性があります。

あなたのご家族が「認知症かもしれない」と心配になった時、どうすればよいでしょうか？まず、「加齢に伴うもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違いについて考えてみましょう。

## 加齢に伴うもの忘れ

- 忘れたことを自覚できる
- 日常生活を送るうえで大きな影響がない
- 時間の間隔や日付・季節を間違えることがある
- 体験した一部を忘れる  
(ヒントを出すと思い出せる)

## 認知症によるもの忘れ

- 忘れたことの自覚が難しい
- 日常生活を送るうえで影響(支障)がでる
- 時間の間隔や日付・季節が分からなくなる
- 体験したこと自体を忘れる  
(ヒントを出しても思い出せない)

## もの忘れが気になるときは (家族が認知症かもしれないと感じたら)

### かかりつけの先生がいる場合は …

- ▶ まずはその先生に相談するのが定石です。ご本人と一緒に相談しづらいという場合は、ご家族だけで相談する方法もあります。ただ、大きな病院の先生や専門外の先生の場合は、物忘れ外来などへの受診を勧められるかもしれません。

### かかりつけ医がない(対応してくれない)場合や ご本人が認知症についての受診に抵抗感がある時は …

- ▶ 市町村の地域包括支援センター (以下、包括) へ相談しましょう。高齢者のための介護やその他よろず相談を専門の相談員が受け付けています。相談はご家族だけでも大丈夫。包括では一人ひとりの状況に応じた対応策をご家族と一緒に考えます。



### ワンポイント アドバイス

ご家族は基本的な接し方を変える必要はありません。そのうえで一番大事なことはご本人の自尊心を傷つけないようにすることです。市町村では認知症に関する講演や相談会などが企画されています。それらを通して、ご家族が認知症のご本人と無理なく接していく方法を見つけると良いですね。

ただ、病状によっては、ご自宅での生活が難しい場合もあるでしょう。その場合は先生や包括などの関係者とも相談して、入院や施設入所等の選択肢を考える場合もあります。

一番大事なのは無理をせず、ご本人やご家族に取っての最善を探ることが大事なのではないでしょうか。

# 社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会 令和3年度永年勤続表彰

永年勤続表彰式が令和3年10月5日、6日に執り行われ、30年勤続7名、20年勤続11名、10年勤続24名、総勢42名の方々が表彰されました。今後も益々のご活躍をお祈りしております。



## ■ 30年 永年勤続を迎えて

### 「永年勤続表彰を受けて」

フジホーム  
介護職員 川上 澄人

今年度、勤続年数が30年に達しました。これもひとえに先輩職員、同僚、その他関係者の皆様のお蔭と存じます。ありがとうございます。

平成2年8月に入職し、救護施設昭島荘で17年、フジホームで13年、直接処遇一筋で頑張ってきました。永年勤続で表彰していただくことは私にとって大変嬉しい事です。30年前を振り返りエポックをネットで検索したところ、次の様な出来事が出来て来ました。第1回センター試験実施、秋篠宮さま御成婚、東西ドイツ統一、雲仙・普賢岳噴火、即位の礼、秋山豊寛さん日本人初の宇宙飛行、オグリキャップラストランで有馬記念有終、など、このような出来事からもう30年も経ったんだと思うと感慨深い思いでいっぱいです。

30年間と一言と言っても、辛かった事、楽しかった事、嬉しかった事色々ありました。中でも若かった頃は、失敗や反省する事が多かった様に思います。昭島荘で勤務していた頃、車椅子のご利用者様と買い物外出に出掛けの際、車椅子を押し移動介助中に道路の側溝に車椅子の前輪がすっぽりと挟まってしまい、乗っていたご利用者

様を前に転倒させてしまったことがありました。幸いご利用者様はかすり傷程度の軽い怪我です。なのですが、私自身配慮が足りなかったと大変反省し落ち込んでいました。その時、失敗したことを責めるのではなく、失敗を技術向上の機会にする様アドバイスを下さった先輩職員に気持ちが救われました。その他にも、先輩職員には様々な事を教わり社会福祉の魂を注入されたような思いです。そのお蔭もあり、私自身この仕事に対してしっかりとしたポリシーを持つ事が出来、ここまでやってこれたように思います。

コロナ禍でマスクをしながらの直接介護は、時節柄体力的に辛いものもあるのですが、ご利用者様、ご家族様の気持ちに寄り添い、より良いサービスが提供出来ます様、これからも努めてまいります。



## 10年

- 京岡 夏子 (フジホーム)
- 縄田 晃一  
(原町ホーム居宅介護支援事業所)
- 田尾 恵利佳 (昭島荘)
- 見崎 圭介 (昭島荘)
- 上田 麻理奈 (さやま園)
- 田尾 勇祐 (さやま園)
- 瀧山 悠美 (さくらんぼ)
- 五弓 真奈美 (大山保育園)
- 飯田 純一 (大山保育園)
- 飯島 由佳 (大山保育園)
- 大木 海帆花 (昭和郷第二保育園)
- 永澤 沙知子 (みなと保育園)
- 伊藤 ももこ (みなと保育園)
- 堂園 昌美 (同援みどり保育園)
- 星谷 亜美 (同援みどり保育園)
- 北村 一也 (同援みどり保育園)
- 橋高 愛莉 (同援みどり保育園)
- 浅野 奈央子 (つつじが丘保育園)
- 仲村 幸江 (つつじが丘保育園)
- 山本 幸司 (双葉園)
- 大熊 昭子 (昭島病院)
- 清水 美幸 (昭島病院)
- 小須田 和子 (昭島病院)
- 番場 泰司 (昭島病院)

■ 20年 永年勤続を迎えて

「昭島病院と共に」

昭島病院  
看護師 中森 節子

二人目の子供を小さく産んでしまい、しばらく家庭に入ろうと思っていましたが、やはり仕事をしたと思い昭島病院にパートで入职しました。産婦人科での経験しかなく、配属された外来で色々と学ばせて頂きました。その中で消化器内視鏡との出会いは、専門的な知識や技術などを学べたことで私の経験値を上げてくれました。そして、上司と同僚のお陰で消化器内視鏡技師試験に合格できました。その上司が亡くなり、一緒に試験を受けた同僚から、当時准看護師だった私のために「一緒に勉強してあげてね」と言われたと聞いた時は、感激と感謝で一杯になりました。その思いは今度私が後輩に繋げないといけなく感じました。その後、正職員になり、子育ても一段落し、目標であった正看護師へのチャレンジです。何十年かぶりの

勉強や実習は大変でしたが、経験があつての勉強は裏付けも出来て楽しく学べました。が、年齢的に「覚えることがこんなに大変！」というぐらいノートに何回も書き、公民館に一日中こもって勉強をしたりしました。無事に合格し、長年の思いを晴らせることが出来ました。

そうこうしている間に年月は過ぎ、昭島病院と共に成長させていただいた私ですが、これからも笑顔で患者さんの思いに寄り添える看護をして行きたいと思えます。



■ 10年 永年勤続を迎えて

「これからも……」

同援みどり保育園  
保育士 北村 一也

子どもと遊ぶことが好きで保育士になりました。同援みどり保育園に入職してからは、遊ぶ事だけが仕事ではない事に気付いて大変な思いをしましたが、子どもの成長を見守り、色々なことを教えたり、人と関わる事が好きになりました。10周年を迎えて今思う事は、入りたての頃に先輩や仲間と飲みに行き、仕事のことやプライベートの事などをあーだこーだ言い合えたことです。大きい声では言えないですが、仕事の失敗や愚痴なんかをこぼすことができたことで、少しのミスなんかではへこたれず前向きに仕事をすることができました。

保育士の仕事は幅が広いです。子ども相手では何が正解かはなく、天気を見るようにタイミングだっ

てあります。経験が増えてきても「さあ困った。」と思う事もまだまだありますが、子どもの前では動じなくなれたくらいが僕の満10年です。まだまだこれから出会う人たちと笑顔溢れる仕事をしていきたいと思っています。



- 20年
- 山下 修平 (かえで)
  - 若林 昌史 (小茂根福祉園)
  - 関口 直志 (小茂根福祉園)
  - 奥田 健司 (立川福祉作業所)
  - 田川 亜矢子 (昭和郷保育園)
  - 加藤 菜美 (大山保育園)
  - 草谷 芙美子 (双葉園)
  - 中森 節子 (昭島病院)
  - 甲斐 尚美 (昭島病院)
  - 福田 みどり (昭島病院)
  - 松村 康広 (昭島病院)

- 30年
- 川上 澄人 (フジホーム)
  - 久保田 俊之 (昭島荘)
  - 長利 浩文 (さいわい福祉センター)
  - 嶋 いづみ (むさしの保育園)
  - 真藤 静江 (昭和郷第二保育園)
  - 江田 祐子 (双葉園)
  - 佐藤 貴実男 (事業局)

表彰者の方々

## コロナ禍における影響と その中でホッとしたこと

### 万世敬老園

施設長 山口 慎二

「ねえ！このコロナウイルスって何なの？大変なことじゃない？オリンピックは出来なくなっちゃうんじゃないの？」とあるご利用者が新聞の記事を指さしながら、矢継ぎ早に私に話をされたのは令和2年2月頃でした。正直なところ、その時点での私はこのご利用者ほどの危機感を持っていなかったのですが、以降はその通り、いやそれ以上の毎日が続いています。職員は感染予防対策に追われ、発熱者の対応に怯え、常時ピリピリした雰囲気が続いています。ご利用者は、これまで自由度の高い生活を送られていましたが、外出の制限や行事の縮小、クラブ、レクの中止等により閉塞的なムードが続いています。

そんな中、コロナ禍も丸1年以上を過ぎた頃より、ご利用者は園芸作業を、職員は新たな行事を、と提案が挙がりだしました。園芸については花壇の整備や、畑で大根、サツマイモ、トマト等を作り、早速園の食事の一品に。行事については、

感染予防をしながら「夏フェス」を実施しました。縁日形式でソフトクリーム、かき氷、綿菓子、射的、金魚すくい、スイカ割り等々…、さらに夜は花火も楽しみました。大いに楽しんでいただけたように思っています。

ご利用者、職員とも自主的な企画で、この状況下でも出来ることをみんなで考えて形にしてくれたことは本当にうれしく、頼もしく感じました。コロナ禍も「当たり前の生活」を見直す機会と捉え、ご利用者、職員の結束につながれば、と思っています。



### 東村山生活実習所

生活支援員 本田 利玖

この未曾有の感染症により、施設の行事自体にも大きな影響を受けました。本来であれば、施設の全員で行事を行い楽しんでいます。しかしコロナによって全員でやりたくてもできないことによる葛藤があり、そこにもどかしさも感じていました。

そのような中で、ホッとしたことが、夏祭りの成功です。オリンピック・パラリンピック東京大会が開催されていることもあり「祭ピック」と題して開催しました。手作りポッチャや様々なミニゲーム、レクリエーションをローテーションで提供することで、密を避けながら楽しんでもらえるように創意工夫をして行いました。利用者の皆さんをはじめ職員も楽しむことができました。また、用意したお土産をもって帰っていただくことで、ご家庭やグループホームの方たちにも楽しんでいただくことができました。

今回、コロナ禍での開催でしたが、一人も体調を悪くする方が出ず、その上で利用者の皆さんに楽しんでいただけたことができてホッとしています。まだまだ、大々的には行事を楽しむことができない状況は続きます。そのような中でも、職員が協力して利用者の皆さんに喜んで頂ける行事をいろいろ模索していきます。またそうすることで利用者の皆さんをはじめ我々職員も、コロナ禍を元気に過ごすことができるのではないかと思います。



## 昭和郷第二保育園

主任保育士 進藤 明美

昨年度は未知のウィルスに脅かされ、今までの日常とは違う生活を送らなければならず、行事なども延期や中止にせざるを得ない状況でした。今年度は昨年度の経験から、子ども達の成長のためにも、感染防止対策に努めながら、子ども達が伸び伸びと活動が出来るよう、子ども達の育ちを支える保育を工夫しながら行っています。先日、5歳児が自分達で育てたじゃがいもを使用し、カレー作りをしました。担任手作りの作り方表を見ながら、「玉ねぎの皮をむくね」「私はじゃがいもを切るよ」と、上手に分担しながら野菜を洗ったり切ったりしていました。マスク越しではありましたが、子ども達のわくわくどきどきした表情や気持ちが手にとるように伝わってきました。鍋で煮込んでいる時には、カレールーを入れる前にも関わらず「カレーの匂いがしてきた」と喜び、「おいしくなりそうだね」「早く食べたいよ

ね」と顔を見合わせ微笑みあい、楽しみにする姿が可愛かったです。みんなで協力して作り上げたカレーは最高に美味しかったようで、鍋が空っぽになるまで沢山食べていました。様々な体験や経験を積み重ねることは、子ども達の育ちを考えた時に、やはり大切です。「コロナ禍だから出来ない」のではなく、これからも子ども達の育ちに寄り添いながら、「今出来ることは何か」「どうすれば出来るのか」と視点を変えて、今後も取り組んでいきたいと思っています。



## サンライズ武蔵野

少年指導員 山口 航平

新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから、はや1年半が経とうとしています。感染拡大に伴い、これまでの生活様式が一変し、例年行ってきた施設での対応に変更が迫られました。毎年行ってきた親子レクや学童キャンプ等の行事も中止が余儀なくされました。

利用者の皆さんは終わりが見えない自粛生活のなか、不安やストレスを抱え日々生活をしています。私たち職員は利用者さんにお弁当を提供して、食事作りの負担を軽減し、母親向けハーバリウム作りの行事を新たに企画するなど、利用者の気持ちを少しでも軽くするべく支援を行っています。

夏休みにはむさしの保育園の園庭をお借りして花火会を開催しました。ソーシャルディスタンスを取るため、幼児世帯と学童世帯に分け、家族ごとに分けました。それぞれの家族が親子仲良く花火に興じている姿が見られ、会終了後には「コロ

ナ禍で退屈な夏だったが、施設で花火を見ることが出来て良い思い出になった」といった声上がり、職員にとっても非常に印象深い行事となりました。

現在は希望する利用者、職員のワクチン接種が完了し、一安心したもののまだまだ油断する事は出来ません。感染症対策を継続しながらも母子が楽しく健やかに生活できる環境を提供出来るよう今後も努めて行きたいと思っています。



# ご支援ありがとうございました (敬称略順不同)

## ご寄付

◇浄土宗東京教区八王子組青年会

## 後援会

平尾正二◇青木保之◇南雲栄一◇中村健一◇矢部文子◇山内悦◇伊藤彰浩◇細谷寛子◇中村定徳◇幡野信子◇宮奈多摩江◇鮫島恭江◇折居千恵子◇大橋政照◇宮澤民雄◇高仲智子◇福家謙介◇青木薫◇川井文子◇磯野輝夫◇内田祥二◇(株)金祥堂紙販売◇田中青果店 田中潔◇(株)三ツ矢◇昭島ガス(株)◇(株)五嶋造園 代表取締役 五嶋政吉◇(株)木の里公房 木薫◇理想科学工業(株)◇加藤商事(株) 代表取締役 加藤宣行◇NPO 法人日本幼児健康体育協会 代表 池田実央◇(株)ショーワ◇戸山商事(株)◇(福)村山苑◇(株)サン・ホワイト◇(株)石塚家具店◇(株)三菱UFJ銀行◇(有)アタック 代表取締役 大澤茂◇(株)金井商店 代表取締役 金井務◇(株)シイ. エイチ. エス 代表取締役 三浦壤二◇国立厨房サービス(株) 代表取締役 藤原章太郎◇(有)海老山◇ネオ・ハルト(株)◇浦野工業(株) 代表取締役 浦野静夫◇昭和の森エリアサービス(株)◇スマイルケア昭和の森◇合資会社松野薬局 会長 松野榮仁◇雪印メグミルク下坪牛乳販売店 下坪唱

三◇(株)フソー 代表取締役 山田政宗◇風間造園(株) 代表取締役 風間脩一◇(有)まゆみ書房◇ヘアパルおかもと 岡本廣◇(有)横手モータース 代表取締役 横手利男◇(株)昭和造園◇東京冷機工業(株)◇(株)豊明◇(株)ハーティーマネージメント 代表取締役 阿部博一◇(株)増田コーポレーション◇中村屋魚店◇(有)原島組 代表取締役 原島和敏◇(有)リハビリサービス◇(有)ラッコクリーンサービス 代表取締役 佐々木憲寅◇長崎三丁目町会 会長 足立憲昭◇創洋紙商事(株) 代表取締役 中屋守敏◇唐沢電機(株) 代表取締役 小林利美◇昭島サンセルフ 高野裕志◇(株)コスモス医工 代表取締役 小林寿男◇(株)サン・ホワイト 代表取締役 三宅真◇(株)キタジマ◇(株)ワンダー東京◇(有)いとう教材社 代表取締役 伊藤淳亮◇(株)相田土居設計 代表取締役 土居志朗◇(株)ミートショップの鈴政◇アーキベルクー級建築士事務所◇日清医療食品(株)◇おしゃれの店ひらまつ 平松秀治◇水村肉店 水村豊◇(株)橋本工務店 代表取締役 橋本誠一◇(株)ケイエス機材 代表取締役 岸学◇原町三丁目町会 会長 土屋勝

## 資格取得のご紹介

次の方が資格取得しました。  
日頃の業務に活かし、ご活躍を期待します。

### ■ 介護支援専門員

ゆたか苑  
介護職員 五十嵐 美優

### ■ 介護福祉士

万世敬老園  
支援員 高地 道子

### ■ 保育士

昭島荘  
介護職員 岸本 悠華

## 祝

### 表彰・感謝状 受賞者

多年の功績とご協力に  
対し、次の方々表彰  
されました。  
おめでとうございます。

#### 【東京都社会福祉協議会会長表彰】

- 小茂根福祉園  
生活支援員 茂木 まどか  
生活支援員 三瓶 弘毅

#### 【東京都社会福祉協議会会長感謝状】

- 小茂根福祉園  
生活支援員 関口 直志  
生活支援員 若林 昌史

## 雑感

見えないウイルスのことばかり考え悩んでいる日常に、気分が晴れやかになるニュースが飛び込んでくると、ひととき嬉しくなります。野球ファンだけではなく、日本中の心を元気にしてくれる「メジャーリーガー大谷翔平」のニュースもその一つです。誰もが羨むフィジカルと才能から繰り出すプレーの数々は、どれだけの人の心を躍らせているのでしょうか。さらに素晴らしいのは学ぶべき言動がたくさんあるところです。満足のいく打ち方が出来なくても、ファーストベースまで全力で走るその姿に毎回感動し心が熱くなります。彼の生き様から気付くことが数多くあります。結果が出る前に諦めず、最後の一步まで全力で走り抜く気持ちを忘れずにいたいです。

ニューフジホーム 片岡 記

発行者 飯山 幸雄  
社会福祉法人 財団法人 東京都同胞援護会  
東京都新宿区原町 3-8  
電話 03(3341)7161 <https://www.doen.jp>

印刷所 東京都同胞援護会事業局  
東京都墨田区両国 4-1-8

令和3年10月15日 発行

